

令和2年度第4次行政改革実施計画実績報告総括書

令和3年12月22日
下呂市役所総務課

【実施計画書の改善点について】

昨年度の委員会において実施計画書の複雑さや見にくさについてご意見を頂いておりました。前回より進捗状況にパーセント表示を設け、視覚的にどの程度の進捗が分かり易いように改善いたしました。

また今回より新たに実施計画の全体進捗(計画最終年度R5まで)が、「予定通り以上」あるいは「すでに最終的な目標達成」したものについては「青・水色」で、「概ね予定通り」は「緑色」で、「やや低調」は「黄色」で、「低調」は「赤色」で表示しました。

【令和2年度実績報告全体概況】

目標項目全64項目中 青・水色19項目 緑色11項目 黄色29項目 赤色5項目 という状況です。概ね予定通り以上となる緑色以上が30項目、46.9%、やや低調の黄色が29項目、45.3%、低調の赤色が5項目7.8%という結果です。

進捗度別に分析すると、緑色以上の項目の中ではNo.21ふるさと寄付金が決算額で390,115千円と前年度の193,224千円を倍増させる躍進を見せております。また、IT関連の目標が順調に推移しておりNo.20窓口における手数料支払いキャッシュレス化やNo.33下呂市HPの更新、No.7ケーブルテレビ事業の譲渡などは予定以上の進捗となっております。

一方やや低調となった黄色29項目については、コロナ禍で人と会うこと自体が憚られ、思うように事業が進まなかったという現場からの声や、7月豪雨災害対応により思うような計画推進が出来なかったという声が多くあり、集中して事業に向かえる環境が整わなかった影響が大きく出てしているとみております。

また低調の赤色5項目については、コロナ禍、災害に加えて、目標そのものの性質、具体的には事業譲渡や事業委託などどれも相手がある項目が多く、こちらの意向だけでは話が進まない性質上うまく進捗が進んでいないとみております。

全体としてはやや低調な結果ではありますが、ふるさと寄付金等のように躍進している項目もあり、コロナ禍の今やれることを見極め、注力すべきところ、推進すべきところを選択していくことが肝要と考えます。

【今後の課題】

今後は当然のことながら赤色項目、黄色項目の進捗をあげることが課題となりますが、コロナ禍においてどこまで進捗をあげることが出来るか不透明であるとも感じるところです。

引き続き当初の目標に向け傾注させるよう促すこともひとつとは思いますが、現実的な計画内容への見直しも含め柔軟に対応する必要があるのではないかと考えます。

また、すでに達成した目標についてもさらなる高みを目指す目標上方修正や高いレベルでの維持継続を目指すなどの目標改善をして、引き続き行革推進に取り組んで行くよう進めるなどの検討をしてはどうかと考えております。

前述のような視点も含めまして、委員会として忌憚のないご意見を頂ければと考えております。